

令和7年度 中央区立日本橋幼稚園 経営方針

園長 深井 俊哉

1 教育理念 すべては、子どもたちの「幸せ」と「成長」のために

- 「すべては子どもたちのために」を理念として、全職員が一丸となって教育目標の実現に向けて、子どもたちの「今」の幸せだけではなく、「未来」の幸せを見据えて、教育活動を推進していく。

2 教育目標 「げんきな こ」「やさしい こ」「かんがえる こ」

- ◎げんきな こ(心身ともに健康で、自分らしく素直に表現できる子)
- ◎やさしい こ(優しく思いやりがあり、友達と仲良く遊びに取り組む子)
- ◎かんがえる こ(自分で考えて行動し、最後までやりぬく努力をする子)

3 目指す幼稚園像 「笑顔があふれる 子どもまんなか幼稚園」

子どもの人権、教職員の人権が尊重され、本園に関わる人すべてに安心・安全が保障される幼稚園

(1) 子ども一人一人のよさを引き出し、笑顔あふれる幼稚園

自分から興味や関心をもって遊びや生活に取り組み、お互いの関わり合いの中で、友達と協力できる子どもを育てる。

○子どもの「笑顔」→「自分が大好き、友達大好き、先生大好き」となる幼稚園

(2) 教職員が子どもの成長にやりがいを感じ、よさや能力を発揮する幼稚園

児童と教職員がともに成長し学びつづけ、やりがいと喜びを感じる。

○教職員の「笑顔」→「教職員こそ最大の教育環境」と使命感をもち指導にあたる幼稚園

(3) 家庭・地域との相互理解・協力を図り、家庭・地域に信頼される幼稚園

迅速で誠実・丁寧な対応。積極的な情報発信

○保護者の「笑顔」→「安心して通わせられる」「幼稚園に協力しよう」と思われる幼稚園

○地域の「笑顔」→「地域に幼稚園があって嬉しい」応援してもらえる幼稚園

4 めざす幼児像

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康でたくましく、伸び伸びと遊ぶ子ども
- (2) 信頼感や思いやりの気持ちを持ち、自分も友達も大切に子ども
- (3) 様々な遊びや環境に興味・関心を持ち、自分で考えたり試したりしながら、粘り強く物事に取り組む子ども

5 経営の重点

- 子どもを中心とした教育活動を実践し、自己の力を十分に発揮し、主体的に行動できる幼児を育てる。
- 遊びを通して生きる力の基礎を培い、心身ともに健康な幼児を育てる。
- 幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性」を育ていく。
- 併設小学校を活かし、小学校の校庭や体育館、プールなどの活用や全学年と交流を通して小学校教育への滑らかな接続ができるように、学びの連続性を踏まえ、就学前教育の充実を図っていく。
- 地域人材や地域資源へのふれあいを通して、人への愛情や信頼感、地域への親しみの気持ちを育ていく。

心身ともに健康で、自分らしさを素直に表現できる、「げんきな こ」の育成

- (1) 意図的・計画的な運動遊びの推進
幼稚園施設の特徴を活かした、様々な動きを経験できる運動遊びの推進
- (2) すくすくガーデンを活用した栽培活動の充実
幼児の興味・関心、発達に即した、計画的な栽培活動
- (3) 食育教室での学びを踏まえた、継続的な食育の実施
視覚教材を活用した日常的な食育

優しく思いやりがあり、友達と仲良く遊びに取り組む、「やさしい こ」の育成

- (1) 異年齢・小学生との交流の実施
計画性と適時性のある異年齢・小学生との交流
学年に応じた、意図的・計画的な地域の方との温かい交流

自分で考えて行動し、最後までやりぬこうとする、「かंगाえる こ」の育成

- (1) 園内環境を活かした探求活動の実施
継続的な環境整備と教材研究
講師を招いての年3回の研究保育
指導計画・週案を基にした、幼児の姿の共有
- (2) 主体的に遊んだり生活したりする幼児の育成
幼児の「やってみたい」を引き出す、教材研究や環境づくり
幼児が見通しをもって生活するための環境や援助の工夫